事前に準備しておくこと

ペットを飼っている方にとって、ペットは大切な家族の一員です。災害時に悲しい思いをしないためには、日ごろからの備えが大切です。

災害時にペットを同行することは、ペットの安全を守ることのみならず、ペットを飼っている被災者の心のケアの観点からも重要と言われています。一方、火災の発生や自宅が倒壊する危険等がある場合に、「ペットがいるから避難できない」などの行動は、新たな被害につながる恐れがあります。

あらかじめ、ペットを連れた避難のための備えをしておき、避難先や安否確認方法等とともに、同行避難についても家族と相談するなど心構えをしておきましょう。

（１）ペットの防災用品

避難所にはペットに対する備え（フード等）がないため、飼い主の責任で用意することが必要です。右にまとめた内容を参考にしていただいて、１～２週間分は用意しておきましょう。

（２） 身元表示

災害時には、飼い主とペットが離れ離れになることがありますのでペットにつけておきましょう。また、犬には必ず「鑑札・注射済証」も付けましょう。

（３） しつけ

避難所で初めて会う他のペットや大勢の人に興奮しないよう、飼い主がきちんとコントロールできるようにしましょう。

（４） 各種予防接種と健康管理

災害時、ひとたびペットの伝染病が発生すると、アッという間に広がってしまいます。

（５）協力しあえる仲間づくり

いざというときのために、親戚、友人などペットの一時預け先を確保しておくことも大切です。

（６）不妊・去勢手術

受けておくことで、トラブルが軽減されます。

右の QR コードは武蔵野市の災害時におけるペットに関する基本的な考え方をまとめたものなので、参考にしてご覧ください。
※市のトップページで「人もペットも被災への備えを」を検索

関前防災会　代表　島田豊文
51-2030
https://sekimaebousai.web.fc2.com/

飼育のために避難所に持っていくもの

避難所でのペット飼育のためには以下のような準備が必要となります。

ペットの種類や病気の有無など状況に応じて追加が必要な場合にはその他欄を利用して思いつくものを書いておきましょう。

消耗品（フードやペットシート等）は使いかけのもので構いませんので常に１～２週間分を普段より備蓄をしておくにしましょう。

「せきまえ防災」の第４号と同様にチェックリスト形式にしましたので、用意してあるものから☑をしてみましょう。

【必要となる物】チェックリスト

- □ペットフード（餌）と水
- □食器
- □首輪、リード
- □ケージ、キャリーバック
  - 飼育スペースでのペットの生活空間です
  - スペースも限られるので積み重ねが可能なものをご用意ください。
  - ケージの場合にはビニールシート等の雨風が防げる物も準備しておきましょう。
- □トイレ用品
  - ペットシートや猫砂やトレー等
- □常備薬や療法食
- □その他①（　　）
- □その他②（　　）
- □その他③（　　）

編集後記

今回はペットについてのお知らせとなりましたので、ペットを飼われていない方には不要な内容となってしまったと思います。

もしもペットを飼われているお知り合いの方で本第５号をお読みでいない方がおられましたら、是非お話しください。

「せきまえ防災」も第５号となりましたが、広告チラシと間違われて読まれないまま捨てられている場合も多くあり、「何それ？」というお話もよく聞きます。

地域防災は共助が大切ですので、こうした情報を伝えあうことで、更に安心な街づくりへと繋げて参りましょう。

関前防災会はこちらから